| 科目名 | ボランティア１ | | | | | | | 年度 | 2026 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 英語科目名 | Volunteer 1 | | | | | | | 学期 | 通年 |
| 学科・学年 | ミュージックアーティスト科 1年次 | 必／選 | 選 | 時間数 | 30 | 単位数 | 1 | 種別※ | 実習 |
| 担当教員 | 志鎌 克彦/髙野 清宗 | | 教員の実務経験 | | 有 | 実務経験の職種 | | ディレクター/アーティスト | |

【科目の目的】

積極的にボランティアに取り組み社会貢献を経験することにより、社会と関わる喜びや、様々な人々とのコミュニケーションを通じて人間力を高め、将来社会人として思いやりが有り高いレベルで活躍できる人材となることを目標とする。

【科目の概要】

社会貢献、地域貢献といった体験を通じて、社会に関わる喜びを得ます。

【到達目標】

A.ボランティアに参加できる
B.社会貢献・地域貢献の意義を実感できる
C.周りの人と協力しながら取りくめる
D.自発的に行動できる
E.自己評価ができる

【授業の注意点】

専門学校は出席率100%が基本であるため、理由のない遅刻や欠席は認めない。
教員の指示がない限り、授業と関係のない携帯電話・スマートフォンの使用を認めない。
授業時限数の４分の３以上出席しない者は定期試験・評価課題を受験することができない。

評価基準＝ルーブリック

| ルーブリック<br>評価 | レベル５<br>優れている | レベル４<br>よい | レベル３<br>ふつう | レベル2<br>あと少し | レベル１<br>要努力 |
|---|---|---|---|---|---|
| 到達目標<br>A | ボランティアに参加でき、また参加しようと思える | | ボランティアに参加できる | | ボランティアに参加できない |
| 到達目標<br>B | 社会貢献・地域貢献の意義を実感でき、また参加しようと思える | | 社会貢献・地域貢献の意義を実感できる | | 社会貢献・地域貢献の意義を実感できない |
| 到達目標<br>C | 周りの人と協力しながら取りくめ、また実践しようと思える | | 周りの人と協力しながら取りくめる | | 周りの人と協力しながら取りくめない |
| 到達目標<br>D | 自発的に行動でき、また実践しようと思える | | 自発的に行動できる | | 自発的に行動できない |

| 到達目標<br>E | 自己評価ができ、改善点を発見できる | | 自己評価ができる | | 自己評価ができない |
|---|---|---|---|---|---|

【教科書】

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

活動状況、報告書(感想)を見て評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

| 科目名 | ボランティア１ | 年度 | 2026 |
|---|---|---|---|
| 英語表記 | Volunteer 1 | 学期 | 通年 |

| 回数 | 授業テーマ | 各授業の目的 | | 授業内容 | 到達目標＝修得するスキル | 評価方法 | 自己評価 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 地域意識 | 地域意識を自覚する | 1 | 出身地の特徴 | 自分の出身地の特徴が分かる | | |
| | | | 2 | 出身地の歴史 | 自分の出身地の歴史が分かる | | |
| | | | 3 | コミュニティ | コミュニティの定義を理解できる | | |
| 2 | 自発性 | 自発性について理解する | 1 | 自発性 | 自発性の重要性を理解できる | | |
| | | | 2 | モチベーション | モチベーションの重要性を理解できる | | |
| | | | 3 | インスピレーション | インスピレーションの重要性を理解できる | | |
| 3 | 無償性 | 無償性について理解する | 1 | 無償性 | 無償性について理解できる | | |
| | | | 2 | 奉仕の精神 | 奉仕の精神について理解できる | | |
| | | | 3 | 社会貢献 | 社会貢献の意識を自覚できる | | |
| 4 | ボランティアの種類 | ボランティアの種類について理解する | 1 | 社会福祉 | 社会福祉について理解できる | | |
| | | | 2 | 環境保護 | 環境保護について理解できる | | |
| | | | 3 | 教育支援 | 教育支援について理解できる | | |
| 5 | 倫理と価値観 | 倫理と価値観について理解する | 1 | 倫理 | 倫理について理解できる | | |
| | | | 2 | 価値観 | 様々な価値観を理解し尊重できる | | |
| | | | 3 | 文化の違い | 文化の違いを理解し尊重できる | | |
| 6 | コミュニケーション能力 | コミュニケーション能力について理解する | 1 | 挨拶 | 挨拶の重要性を理解できる | | |
| | | | 2 | 態度 | 正しい態度をとることの重要性を理解できる | | |
| | | | 3 | 意思疎通 | 意思疎通の重要性を理解できる | | |
| 7 | チームワーク | チームワークについて理解する | 1 | 協力意欲 | 協力意欲について理解できる | | |
| | | | 2 | 相互尊重 | 相互尊重について理解できる | | |
| | | | 3 | 役割と責任 | 役割と責任を明瞭化する意味を理解できる | | |
| 8 | 提供できるもの | 提供できるものについて理解する | 1 | 時間提供 | 時間提供について理解できる | | |
| | | | 2 | 資源提供 | 資源提供について理解できる | | |
| | | | 3 | 技術提供 | 技術提供について理解できる | | |
| 9 | 問題解決能力 | 問題解決能力について理解する | 1 | 分析能力 | 自分の分析能力を意識できる | | |
| | | | 2 | 創造的な発想 | 創造的な発想ができる | | |
| | | | 3 | 決断力と実行力 | 決断力と実行力を持つ事ができる | | |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 10 | 継続性 | ボランティア活動を継続するために必要な社会の要素を理解する | 1 | 環境的要素 | 環境的要素について理解できる | | |
| | | | 2 | 社会的要素 | 社会的要素について理解できる | | |
| | | | 3 | 経済的要素 | 経済的要素について理解できる | | |
| 11 | 個人的満足感 | 個人的満足感について理解する | 1 | 満足感 | 満足感を持つ事ができる | | |
| | | | 2 | 達成感 | 達成感を持つ事ができる | | |
| | | | 3 | 利他性 | 利他性について理解できる | | |
| 12 | リーダーシップ | リーダーシップについて理解する | 1 | リーダーシップ | リーダーシップを持つ事ができる | | |
| | | | 2 | ビジョン | ビジョンを持つ事ができる | | |
| | | | 3 | チームビルディング | チームビルディングについて理解できる | | |
| 13 | フレキシビリティ | フレキシビリティについて理解する | 1 | フレキシビリティ | フレキシビリティについて理解できる | | |
| | | | 2 | 適応性 | 適応性を持つ事ができる | | |
| | | | 3 | 多様性への対応 | 多様性への対応について理解できる | | |
| 14 | 責任感 | 責任感について理解する | 1 | 自己認識 | 責任感を自己認識できる | | |
| | | | 2 | 約束と義務 | 約束と義務について理解できる | | |
| | | | 3 | 価値観の共感 | 価値観を共感することができる | | |
| 15 | 自己評価と改善 | 自己評価と改善ができる | 1 | 自己評価 | 自己評価ができる | | |
| | | | 2 | 改善 | 反省点を自覚し改善できる | | |
| | | | 3 | 目標設定 | 次の目標を設定できる | | |

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等